

令和8年春の農作業安全運動強化期間 4月15日～6月30日

今日も無事故で家族が待つゴールへ

1年間に全国で約250人の方が、農作業事故により亡くなられており、岡山県でも毎年10件前後の死亡事故が発生しており、高止まりとなっています。

農作業中の死亡事故のうち最も多いのは、乗用型トラクター等によるもので、転落や転倒などの事故が後を絶ちません。

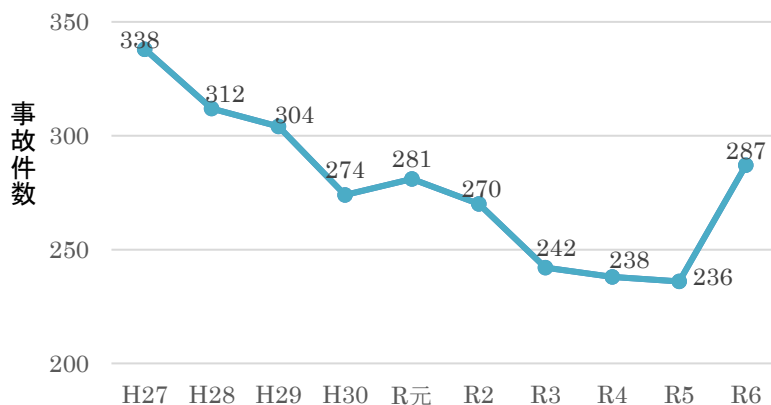
特に高齢になると、今までと同じ操作をしているつもりでも、誤操作をしてしまうことがあります。慢心は禁物です。

不慮の事故は、あなたの大切な家族の生活を一変させます。安全第一を心掛けて農作業に取り組んでください。



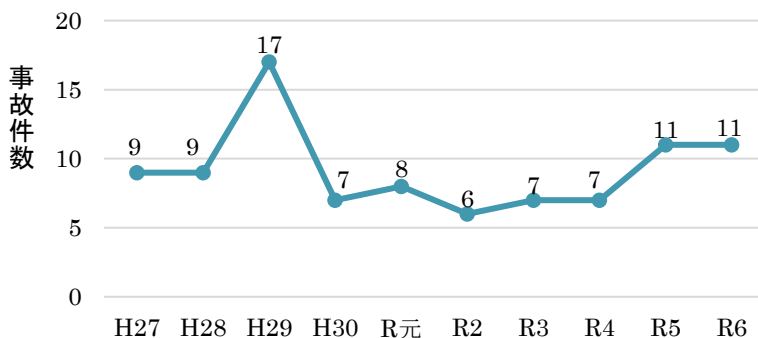
年次別農作業死亡事故発生状況

全国



死亡事故の9割以上は高齢者です！

岡山県



事故の重大化を防ぐために！

事故対策に完全はありません。事故を起こしたとしても、すぐに救助が行われれば助かる命もあります。次のことを日頃から心掛けましょう。



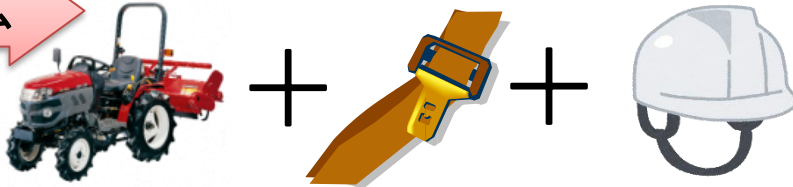
- 家の近くであっても、携帯電話を携帯しましょう。
- その日の作業計画(内容・場所)を家族に伝えておきましょう。
- 道案内ができるように、ほ場までの経路上の目印を確認しておきましょう。



安全対策を見直そう！

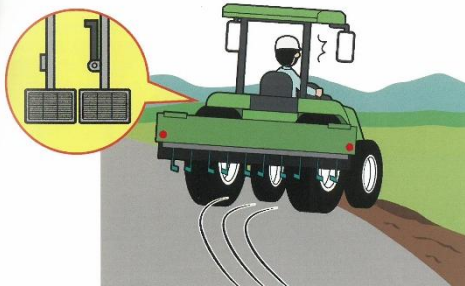
①安全キャブ、フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト、ヘルメットの着用を徹底しましょう！

安全フレーム



安全キャブ、フレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、安全域の中に身体が固定されないため、転倒した際に身体を守ることはできません。

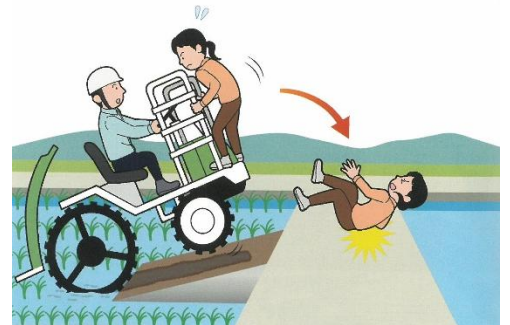
②農業機械は正しく使おう！



**路上では必ずブレーキ
連結**



安全フレームを折りたたんだままの移動は危険



**運転席以外の場所に
乗らない**

熱中症に気をつけよう！



農作業中の熱中症による死亡者数は年々、増加傾向にあります。まだ暑さが厳しくない時期から熱中症の危険性や対策を理解しておき、熱中症を防ぎましょう。

<熱中症予防のポイント>

- 高温時の作業は避けましょう
- 単独作業は避けましょう
- こまめに休憩&水分補給しましょう
- 熱中症対策アイテム(ファン付き作業服等)を活用しましょう
- 作業前にはプレクーリングを実施しましょう

